

# 7 安土桃山時代



▲守山城の石垣

これは……。石垣の一部みたいだけど、これも郡山にあるの？



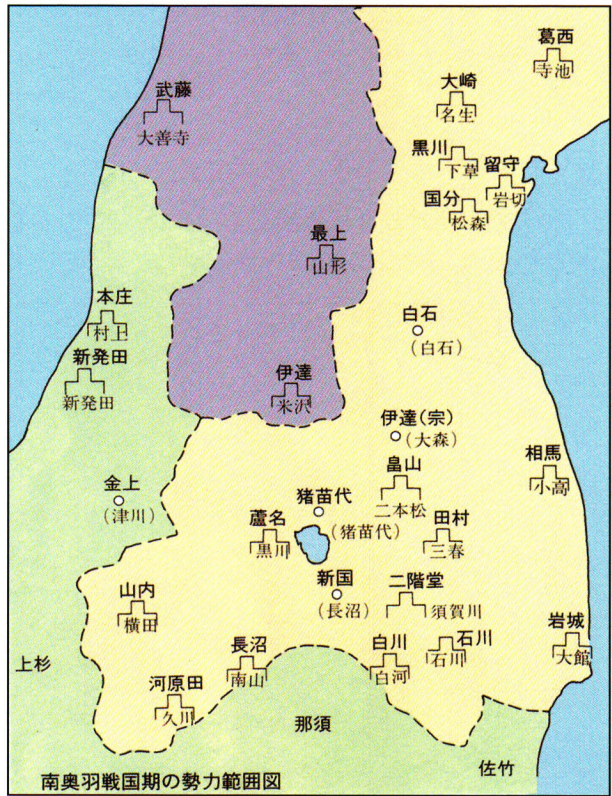
これは、郡山の田村町守山地区にある『守山城』というお城の一部だよ。この時代になると、徐々にお城に石垣が作られるようになったんだ。

城に石垣ができたのはなぜだろう？  
なぜ、守山の地に城が築かれたんだろう？

天正18（1590）年豊臣秀吉が行った『奥州仕置（おうしゅうしおき）』により、それまで伊達氏が支配していた現在の郡山や会津の領地が取り上げられてしまいました。奥州仕置後、伊勢（三重県）から蒲生氏郷（がもうじさと）が会津に入り、郡山は蒲生氏郷の家臣（家来）が支配することになりました。

蒲生氏郷の家臣で、田村町一帯を支配した人は、最初三春城に本拠地を置いたのですが、すぐに現在の田村町守山に移りました。守山には、戦国時代に田村氏が築いた守山城があったと言われていますが、それを改築し石垣のある立派な城に造りかえたようです。城に石垣が築かれるようになったのは鉄砲が戦いの主流になってから以後のことです。

守山の地が本拠地に選ばれたのは、現在の岩瀬と三春を結ぶ街道が通り、陸上交通の要所であったからと言われています。



▲南奥羽戦国期の勢力範囲図

一口メモ

**「奥州仕置き」**

1590年、小田原北条氏滅亡後、秀吉は会津に来て、東北地方の大名の領地替えを行った。小田原攻めに参加しなかった者の領地を没収し、諸大名に与えると共に、伊達氏の所領でも領地がえが行われた。